

はろーどーるへいそ

堀江病院広報誌

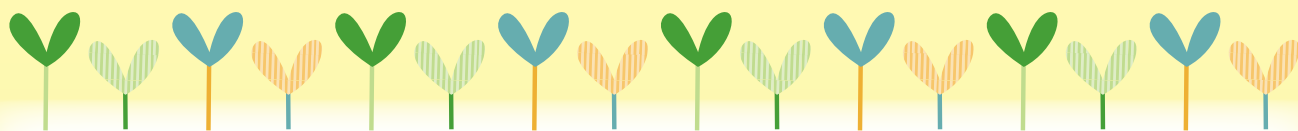
Vol. 110



堀江病院屋上からソーラーパネル越しに瀬戸内を望む

Topics

- ② 「作業を通して働く経験をしてみませんか？」
就労継続支援B型事業所やじろべえ
- ③ 新任医師挨拶
お花見レクリエーション（3病棟）
- ④ 新人紹介
- ⑤ 北部地区支援者意見交換会 開催
- ⑥ うちの子どもたち
～仕事と育児の両立～
うちのペット
- ⑦ マラソンと私 PartⅡ
- ⑧ 歓送迎会 in 道後山の手ホテル
飲食コーナーを設置しました



「作業を通して働く経験をしてみませんか？」

就労継続支援B型事業所やじろべえ
サービス管理責任者 八木 和史

皆さんこんにちは、今年の5月より佑心會の就労継続支援B型事業所『やじろべえ』でサービス管理責任者をしています八木です。この度、広報誌やじろべえに記事を載せるという事でお話を頂き、簡単にではありますが就労継続支援B型事業所についてと、うちでやっている作業についてまとめて書きたいと思います。

就労継続支援B型事業所は、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスになります。障害や難病を抱えた方が自分のペースで働きながら社会参加を目指す場所となっていて、軽作業などを通して働く機会を提供するもので『無理せず続けられる就労の場』とされています。私たちの作業所『やじろべえ』では甘草（漢方薬に含まれる薬草）の畑の農作業と内職（アメニティ）作業を中心に行っています。午前と午後の作業になり、希望に応じて昼食やシャワー浴の利用、送迎等が可能です。

始めてまだ数か月ですが、実際に働いている利用者の方からは体調に合わせて自分のペースで働ける事や、誰かの役に立つ仕事が出来ている事を実感できる事が良いという意見を聞きました。スタッフもそんな利用者さんから日々刺激をもらっています。健康長寿について社会参加が高齢者の健康維持や生きがいにつながると言われている事に、それらの体験を通じてなるほどなぁと納得しています。『社会参加』の形は趣味の集まりやボランティア、地域行事など色々あるとは思いますが、まだ参加できていない方、ゆっくりと考えながら働きたい方は是非一度『やじろべえ』を利用して頂けたらなと思っています。



開所日／月～金曜日 ※土日祝日はお休みです
開所時間／9:30～11:30 13:00～15:00

どうすれば利用できますか？

- ①見学・説明・体験利用（希望に応じ）
- ②相談支援事業所を決めて市町へ障害福祉サービスの利用申請（福祉サービス受給が決定するまで約1ヶ月ほどかかります）
- ③利用契約
- ④利用開始



新任医師挨拶



こんにちは。令和7年4月から堀江病院に勤務させていただいています、今田和人です。香川県出身で、地元高校を卒業後、東京の薬学部に進んでいたのですが、福島県立医科大学に進みました。

薬物療法にて身を立てようとおもっていたのですが、最終的に岡山大学で臨床精神薬理学を教えることができました。

と、難しそうな話になりますが、要するに薬で精神疾患をよくしようということですね。

長く困っている人をよくしたい、そして5年先10年先の様子をイメージしつつ診療したいと思います。

どうかよろしくお願い申し上げます。

お花見レクリエーション（3病棟）

3病棟では桜が満開になり始めた4月にお花見レクリエーションを行いました。

お花見を希望された患者さんと看護師・OTスタッフ数名で出発！

患者さんはお花見を楽しみにされていたようで出かける前から「楽しみ！」「桜満開かな？」とおっしゃっている方もおられました。堀江病院周辺の川沿いには桜並木があります。

当日は快晴でお花見日和！患者さんと楽しくお話ししながら桜並木を歩きました。

桜を見ると皆さん笑顔になって「きれいですね」と喜ばれていました。桜並木を進むと一際大きな桜があります。その桜の付近で、OTの方が用意くださったジュースを、皆さんで飲んでゆっくりとした時間を過ごすことが出来ました。

最後は桜の前で記念撮影を行い、終始温かく楽しい雰囲気でお花見レクリエーションを執り行うことが出来ました。



北部地区支援者意見交換会 開催



令和 7 年 5 月 22 日に当院にて北部地区支援者意見交換会を開催しました。松山市の主任ケアマネージャーの方々が集まる会議にて、医療機関調査が行われることとなり、その中で地域の支援者から精神科病院への外来・入院についての相談・対応についてどのようにしたらよいか困っているというお声がありました。地域包括支援センター和気・堀江と地域包括支援センター潮見・久枝にご協力をいただき、主に松山市北部地区で活動されているケアマネージャー・保健師をはじめ、松山市役所基幹地域包括支援センター職員など計 43 名に出席をいただきました。当院院長より「堀江病院について」「精神疾患について」「精神保健福祉法の入院について」講演し、精神保健福祉士より「当院の外来・入院の相談、受け入れ対応について」説明いたしました。当院からの講演後、支援者と意見交換会を行い、地域で抱えている課題・当院に求められる役割について確認しました。

北部地区支援者意見交換会が、当院として初めての試みであったため、北部地区の支援者の皆様のご要望に添えた内容であったか不安でありましたが、“有意義な時間になったのではないかと”のご意見をいただくことができました。

今回、地域に求められる当院の役割についても再認識させていただく機会となり、より一層地域に根差した病院となるよう病院職員一同精進してまいりたいと思います。

外来看護主任 古用 奈那
精神保健福祉士 大野 俊太郎



うちの子どもたち ~仕事と育児の両立~

3病棟 合田 佑依

昨年4月、予定日より1日早く生まれてきてくれた第二子の男の子！第一子の女の子に比べて、生まれた時の体重差は+1キロでした。顔はむくんでいて、とても可愛いとは言えませんでした（笑）。生まれてからの成長発達も第一子とは全く違います。第一子の時期（コロナ禍）に比べると心に余裕があって何もかも愛おしいです。また成長が嬉しくもあり、切なくなったりしています。夜泣きはそろそろ卒業してほしいところですが…現在は一歳になった息子と年中に進級した娘。毎朝バスに乗るのを見送り、帰宅のバスも遅れることなく迎えることができている環境に感謝しています。

これからも
子どもたちの成長を
楽しみながら過ごして
いきたいです。



うちのペット

2病棟 渡部 有紀

うちにはかわいいモルモットがいます。名前は「ころん」6歳の女の子です。ころんがうちに来たのは4年前の4月のことです。家族でペットが飼いたいねと話していたところ知り合いが引っ越しに伴いペットが飼えなくなり、里親を探していると聞きました。今までモルモットは飼ったことがありませんでしたが家族も飼いたいとのことで譲り受けることになりました。

最初は慣れない場所、人に戸惑っていて小屋から全く出てくれませんでした。でも今では私がケージに近づくと鳴きながら近づいてくれて撫でて逃げなくなりました。食欲旺盛で小松菜や人参が大好きです。冷蔵庫の扉を開けるたびに「キュキュ」と鳴いて促してきます。

とっても可愛くて
毎日癒やされています。
いつまでも元気に過ごして
欲しいと思います。



マラソンと私 PartⅡ

5病棟 野本 隼



①「1951.2」②「140800」③「200:07:46」この数字は何の数字かわかりますか。答えは、①この1年間で走った距離1951.2km。②は消費したカロリー140800kcal。③は①に費やした時間200時間7分46秒です。私はこの1年間のランニングトレーニングで本州を縦断するような距離を走ったようです。

昨今のランニンググッズはかなり進化しています。シューズだけではなく、今回紹介するランニングウォッチには、GPSや心拍計測機能、血中酸素濃度計測はもちろんのこと、音楽を入れたりSuicaも入っていたりと事前に入金しておくコンビニなどでキャッシュレス決済が可能です。ランニング中、手ぶらでトレーニングすることを可能にして

います。また、スマホと連動することで、最初に説明した①～③の他にも様々なデータを閲覧することができ、自己のトレーニング分析やサポートまでしてくれます。私もまだまだ使いこなせてはいません。値段は安いとはいえませんが、内蔵する機能によって初級者向けのモデルから上級者向けまで様々なメーカーから機種が出ています。

昨年のやじろべえ掲載以降、①の距離と③の時間を費やしながら、2024.11.10おかやまマラソン、2024.12.1今治里山マラソン、2025.2.9愛媛マラソン、2025.3.23とくしまマラソン、2025.5.3四国せいよ朝霧湖マラソンに参加しました。決して上級ランナーに比べてトレーニング強度は強いものではありませんが、自分の実力で、自分にできることを、自分にできる範囲で行っているつもりです。愛媛マラソンでは、目標のサブ4を達成することが出来ました。結果も残せています。

**続く目標に向けて
Keep Running!**



歓送迎会 in 道後山の手ホテル

5月17日（土）18：30～道後山の手ホテルにて歓送迎会が行われました。新人紹介、永年勤続者（令和2年から）の紹介などがありました。6年ぶりの開催だったこともあり、人数も約80名の職員が参加されました。



飲食コーナーを設置しました



南側駐車場に面した薬局前のロビーに飲食コーナーを設置しました。当院には、平成元年から活動してきました家族会「ともしび会」がございましたが、会員の高齢化

等による減少で活動の継続が難しくなり、令和6年6月をもって解散しました。この飲食コーナーのテーブルとチェアは、最後まで活動を盛り立ててくださった「ともしび会」会員の皆様から、堀江病院を利用される方に役立てていただきたいというご希望で運営資金を全額ご寄贈いただきまして設置しました。外来受診で病院にお越しいただいた際、お食事されたい場合にゆっくりできるスポットです。売店でのおすすめ商品のご案内もありますので、ぜひお気軽にご利用ください。



医療法人 佑心會
堀江病院

〒799-2652 愛媛県松山市福角町甲 1582 番地
TEL089-978-0783 (代表) FAX089-979-1950
<http://www.horie-hp.jp/>



- 佑心會相談支援事業所
- 共同生活援助 いこいの家

堀江病院 松山

検索



〈交通案内〉
松山中心部から車で20～30分（松山—北条バイパスからすぐ）
JR堀江駅から徒歩で約10分
伊予鉄バス堀江停留所から徒歩で約10分